

特許の名称：ジオテキスタイルによる地中構造物の浅埋設工法



浅埋設工法による大口径パイプの施工

【施工実績】

関東農政局両総農業水利事業所
東海農政局新矢作川農業水利事業所
東海農政局濃尾平野農業水利事業所
東北農政局隈戸川農業水利事業所
北陸農政局九頭竜川下流農業水利事業所
中四国農政局那珂川沿岸農業水利事業所 など

特許番号	特許第 3314191 号	
登録年月日	平成 14 年 6 月 7 日	
出願人（所属）	農村工学研究所	毛利栄征

農業用の幹線パイプラインは、上下水道に比べて極めて大きな口径となることが多い。このため、幹線パイプラインの改修や新設工事では

- ① 地盤を深く掘削する必要があり、施工経費が掛かる。
 - ② 大規模な地震ではパイプラインに大きな損傷が発生している。
- などの課題の解決が望まれています。

本特許は、ジオテキスタイルをパイプラインなどの地下構造物の上部に被せることによって、施工中の構造物の安全性と地震による浮上を防止する技術を開発したものです。

開発した「浅埋設工法」は、パイプラインを地表面の浅い位置に埋設することが可能で、耐震性の高いパイプラインを構築する技術です。

○問合せ先

- ・技術的な相談 施設資源部土質研究室長 担当者 毛利栄征 電話：029-838-75749
- ・利用手続きについての相談 移転推進室 電話：029-838-7679

○よくある質問

- ・埋戻しに使用する基礎材料は？
～地震時の安定性を高めるために、砕石やレキ材料を基礎材料として用いることとしています。使用できるレキ材は、C40 砕石相当のものを原則としています。
また、地盤改良した材料を用いることも可能です。
- ・素堀施工や矢板土留めを用いた埋設施工でも使用することができますか？
～地盤を掘削して溝を形成する場合に限らず、現地盤に盛土を実施してパイプを直接設置するような場合にも使用することが可能です。
- ・使用したい場合にはどのような手続きが必要ですか？
～まずは窓口にご相談ください。特許の使用許諾の手続きが必要です。また、本工法のメリットを上げるためにも設計の段階から検討すべき項目もありますので、概略設計の段階でご相談ください。